



スマート農業“経営効果”実証プロジェクト「リモートセンシング見学会」の開催について（ご案内）

2021年7月5日
農林中央金庫 仙台支店

宮城県農業法人協会（会長：日野正晴、以下「法人協会」）と農林中央金庫仙台支店（支店長：徳永雄亮、以下「当金庫」）は、宮城県、角田市、大郷町等の後援を受け、スマート農業導入が経営にどのような効果を与えるのかを実証する「スマート農業“経営効果”実証プロジェクト」に取り組んでいます。今年度は水稻農業のリモートセンシングの経営効果実証に取り組んでおり、今般「リモートセンシング見学会」を下記のとおり開催いたします。

2021年3月、全国で初めて法人協会と当金庫が連携した実証プロジェクトとして、「スマート農業“経営効果”実証プロジェクト」を発足しました。協会会員のなかから、有限会社角田健土農場、有限会社薬師農産を実証対象法人とし、それぞれ10haのリモートセンシングを行う実践ほ場と比較対象となる10haの慣行ほ場を指定しました。

今回の見学会では、ドローンによるリモートセンシングを実際にご覧いただけます。また、データ解析後にはセンシングマップに連動したラジコンヘリによる追肥をご覧いただけます。

本プロジェクトでは、ヒト・モノ・カネの観点からセンシングおよび追肥を実践したほ場と慣行ほ場の収量や費用、必要な労働力などについて測定・比較し、スマート農業の導入により農業者所得が増加するのかどうかについて検証します。

当金庫は、私たちの存在意義（パーパス）である「持てるすべてを「いのち」にむけて。～ステークホルダーのみならずともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」の発揮に向けて、今後も農林水産業や地域社会の持続的な発展を目指し、新たな価値創造に挑戦する農業法人をサポート・応援してまいります。

記

1. 名称：スマート農業“経営効果”実証プロジェクト「リモートセンシング見学会」
2. 場所：有限会社角田健土農場ほ場、有限会社薬師農産ほ場
3. 日時：
 - ① センシング・角田：2021年7月7日（水）10:30～
 - ② センシング・薬師：2021年7月9日（金）10:00～
 - ③ 追肥・角田：2021年7月14日（水）13:00～
 - ④ 追肥・薬師：2021年7月15日（木）10:00～
4. 主催：宮城県農業法人協会、農林中央金庫仙台支店
5. 後援：宮城県、角田市、大郷町、一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン（日本農業経営大学校）
6. 協力：ヤンマーアグリジャパン株式会社、片倉コープアグリ株式会社、全国農業協同組合連合会宮城県本部、

新みやぎ農業協同組合 あさひな地区本部、みやぎ仙南農業協同組合

以上

<本件に関するお問い合わせ>

農林中央金庫 仙台支店

営業第四班（星、上野） TEL:022-706-7135